

自立・社会参加に向けた高等学校段階における特別支援教育充実事業

平成26年度予算額：449百万円

趣旨

発達障害を含め障害のある生徒の将来の自立と社会参加に向けた適切な指導を行うため、企業と連携した教員の研修、就労先開拓・職場定着支援のためのコーディネーターの配置など、キャリア教育・就労支援等の充実を図る。また、教科指導等を通じた個々の能力・才能を伸ばす教育課程の編成に関する研究を実施する。

①キャリア教育・就労支援等の充実事業

高等学校段階において、障害のある生徒が自立し社会参加を図るために、キャリア教育・職業教育を推進し、福祉や労働等の関係機関と連携しながら就労支援を一層充実。

- ・40地域を指定(特別支援学校1校、高等学校1校程度)
- ・就職支援コーディネーターを配置
- ・企業等での教員の研修を実施
- ・現場実習などの就業体験の充実
- ・授業の改善・充実



②個々の能力・才能を伸ばす特別支援教育モデル事業

障害の状態の改善又は克服を目的とする自立活動等について、高等学校においても実施できるよう「特別の教育課程」の編成に関する研究とともに、教科指導等を通じた個々の能力・才能を伸ばす指導の充実に関する研究を実施。

- ・27地域を指定(高等学校1校程度)
- ・自立活動等担当教員を配置
- ・自立活動を取り入れた特別の教育課程の研究(※現行の教育課程の基準によらない)
- ・一斉授業の改善・工夫(理解しやすい授業づくり等)
- ・得意分野を伸ばす教科指導等の充実



高等学校段階における特別支援教育の充実

自立・社会参加の加速化

